

平成 27 年 3 月吉日

ご担当者 様

「神経難病のレスパイト入院」に関する二次調査のお願い

謹啓

早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本の医療の現状において、神経難病患者の在宅療養は、その継続性の困難さより社会問題となっております。そのなかで在宅医療を継続するためには、「レスパイト入院」の必要性が重要視されています。
(レスパイト入院：在宅療養患者が一時的に入院することで、家族介護者の休息の機会をつくり、介護負担を軽減する目的の入院)

この度、私どもは厚生労働省難治性疾患等克服研究事業（研究代表者 新潟大学神経内科教授 西澤正豊）において、「神経難病のレスパイト入院」に関する実態調査を行っております。昨年末の一次調査においては、早速ご協力いただき誠にありがとうございました。

一次調査にてご協力の可能性を示唆していただきましたすべての機関に、今回二次調査アンケート用紙をお送りしております。

送付内容： 訪問看護ステーション等用二次調査票（4 ページ）・封筒（ピンク） 1 部
療養者（患者さん&ご家族）用 調査票（5 ページ）・封筒（黄・白） 一式
[こちらは対象患者さんがおられる場合にお使い下さい*1]

二次調査は、それぞれ調査用紙（複数ページ）へのご記入をお願いしております。なお、調査には、過去 1 年間の情報を記載して下さい。療養者用調査票は二重封筒での**個人情報**の保護を行っています。投函時、**内封筒の表面に何も記載しないで**下さい。この点を対象療養者さんによりしくご指導下さい。

ご返送の期限を **4 月 30 日** とさせていただきます。

また、本研究へのご協力に関するご同意は、調査票へのご記入と投函をもってご同意いただいたものといたします。（三重大学臨床研究倫理審査委員会承認 No.2816）

お忙しいところ誠に申し訳ございません。調査にご協力していただけたら幸いです。

謹白

厚生労働省 難治性疾患等克服研究事業研究班（西澤班）
三重大学 医学部 看護学科 および 同神経内科 成田有吾
医療法人財団華林会 村上華林堂病院 神経内科 菊池仁志

※ なお、本調査に関して、三重大学医学部神経内科ホームページにも、研究計画書・説明文書等の資料を掲載しております。

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/neurology/kouki-kenshu/research/1f/index.html>

また、本調査に関するお問い合わせは、三重大学 看護学科 成田有吾
(yug@clin.medic.mie-u.ac.jp) (TEL059-231-5107) までお願いいたします。

*1：複数の療養者様よりご協力いただける場合ぜひご連絡下さい。追加送付いたします。